

議会だより

御宿町議会からみなさまへ

特集
1

小菅村から 何を学ぶのか。

特集
2

大阪・関西万博と 淡路島に行ってきました。

町長が誘って
くれたので、一緒に
村おこしで有名な
小菅村へ☆

人口約600人
の村の挑戦から、
私たちはいったい何を
学ぶべきなのか。

主な内容

- P2 特集1「小菅村から何を学ぶのか。」
- P4 特集2「大阪・関西万博と淡路島に行ってきました。」
- P6 一般質問 P10 審議結果
- P11 議案 Pick up! こんなことが決まりました
- P14 町のみなさんの声
- P16 70周年記念式典で5名が受彰

特集①

小菅村から 何を学ぶのか。

人口約600人の小さな村が、先進的な取り組みを次々と実施。とある会合で船木村長とお近づきになったという原町長と一緒に、その秘密を探るべく9月30日に視察に行ってきました。

小菅村役場
Kosuge Village Office

1 ブレないコンセプト

1987年から38年経った今も変わることなく、“多摩源流”をキーワードに村づくりを続けられているとのこと。毎年5月4日の「多摩源流まつり」を始め、すべての取り組みがこのコンセプトを軸に展開されていくことで、全国に広く名を轟かせる力強さが生まれていると感じました。



2 民間企業との 信頼関係

2013年から小菅村と“伴走”しながら快進撃を続けるコンサル会社「株式会社さとゆめ」。

社長の嶋田さんは、「起業したばかりの私に、村長は最低でも5年は一緒に頑張ろうと言ってくれた。何の保証もなかったが、その気持ちだけで十分だった。」と語ってくれました。



バイタリティーにあふれる船木村長と、敏腕プロデューサー嶋田氏によるタッグが実現した官民連携の大成功事例であった。
(塩入健次 議員)



小菅村長の人柄の良さ、心の大きさがあるからこそ村民達と一体となってあれだけの村になったと感じました。感動しました。
(伊藤城祐 議員)



「失敗してもいい。その時は俺がなんとかする」と明るく職員に言い続けた村長。全てはそこから始まった。大いに納得。
(北村昭彦 議員)

3 積極性と独創性

「株式会社さとゆめ」が呼び水となり、様々なローカルベンチャー企業が村内で活躍し、産学連携も積極的に行われていました。その活動はどれも独創性にあふれ、たびたびメディアに取り上げられています。

村全体をひとつの古民家ホテルに見立てた「NIPPONIA 小菅 源流の村」、移住者向けのおしゃれな小型住宅「タイニーハウス」のデザインコンテスト、森を生かしたアスレチックと温泉が併設された「道の駅こすげ」、ドローン配送の定期ルート実験線の開発、ふるさと納税自動販売機の設置、カード決済の無人コンビニ（スマートストア）など、どれも先進的な取り組みばかりでした。



船木村長と正副議長に加え、嶋田社長まで同行していただきました。感謝！！



視察報告（要約版）

人口約 600 人の小菅村、源流の村としての村づくりに深く感銘を受けた。

特に、自治経営という観点から道の駅を中心に温泉、レストラン、アスレチック、管理釣り堀の 5 つを運営する村づくり会社「源」の存在が大きい。少子高齢化が進む中、地域の風土、歴史、文化に磨きをかけ、町内外から英知を集結させ、住んでよし、訪れてよしのまちづくりをどう実現させていくかが問われます。

船木村長のリーダーシップと伴走型官民連携は先進地事例で、今まさに執行と経営の分離、新しい組織づくりでまちづくり会社の必要性を再認識しました。まずは、「楽しく」、「とにかくやってみようよ」を合言葉に新しいまちづくり協議会を立ち上げることを執行部に提案いたします。



御宿町議会議長
滝口一浩

4 トップの役割

2012 年に村長に就任されて以来、明るく力強くリーダーシップを発揮されてきた船木村長。

役場職員や民間企業を始めとした様々なプレーヤーたちがつながり、信頼関係を深めながら挑戦を続けてきたのは、村長の人柄があつてこそ。



若手職員の佐藤さんと楽しそうに話す村長。お二人ともいい笑顔！



「間違ったら軌道修正すれば良い」という意思決定のスピード感や、行政と企業が伴走型の開発は地域の人も資源も活かしたものであった。
(石井芳清 議員)



小菅村の「むらづくり」の原点は人間力。自信と笑顔が印象的な村長と職員、そこに関わる人々との信頼関係の大きさと一体感を学んだ。
(田中とよ子 議員)



小菅村事業の成功の秘訣は、官民の良さを村長が引き出して事業展開していること。
民間経営も、カリスマ性のある経営者が注目される傾向がある。
(土井茂夫 議員)

特集②

大阪・関西万博と 淡路島に行ってきました。

令和7年度常任委員会視察研修として、
10月8日～9日の1泊2日で大阪・関西
万博のスペイン館、および淡路島での
地域活性化の取組みを
視察してきました。

1 大阪・関西万博 ～スペイン館を表敬訪問～

スペイン国上院議員友好グループの
皆様が万博視察のため訪日され、6月
に御宿へ足を運んでくださったことも
あり、大阪・関西万博スペイン館を表
敬訪問しました。



谷口館長が
展示内容につい
て丁寧に説明
して下さい
ました。



いろんな意味で一度
訪れたかった淡路島。
地元民の島を愛する想
い入れと夕陽が美しい
島の西海岸プロジェクトに刺激を受
けた。
(滝口一浩 議長)



奇しくも被災から 30
年の節目に訪れた淡路
島 北淡震災記念公園
野島断層保存館で、被
害抑止策の重要性を心に刻む。
(岩瀬環樹 議員)



スペイン館の展示を拝
見して、スペインと御宿
との関係の深さを実感
した。この展示を世界
中の人々が観覧して、史実を知っ
ていただけたと思う。
(椎木藤弘 議員)

2

淡路島

～パソナグループの取り組みと震災からの復興～

廃校を活用した“道の駅” + “本格イタリアン” + “ミニ動物園” のじまスコアラ



淡路島では、2008年から総合人材サービスのパソナグループが本社機能の一部を移転(人事や広報など管理部門を担う1,800人のうち約7割の1,200人を移動)させる形で、多様な働き方の推進やリスクの分散と同時に、独自の地域活性事業に取り組んでいます。

目標は、淡路島を「美食の島」「文化芸術の島」「健康の島」として世界で最も先進的で豊かな生き方・働き方ができる場所にすること。研修セミナーの講師を担当してくださった渡部部長曰く、「まだ道半ば」ということですが、島のあちこちで非常に先進的な取り組みを視察することができました。

視察報告(要約版)

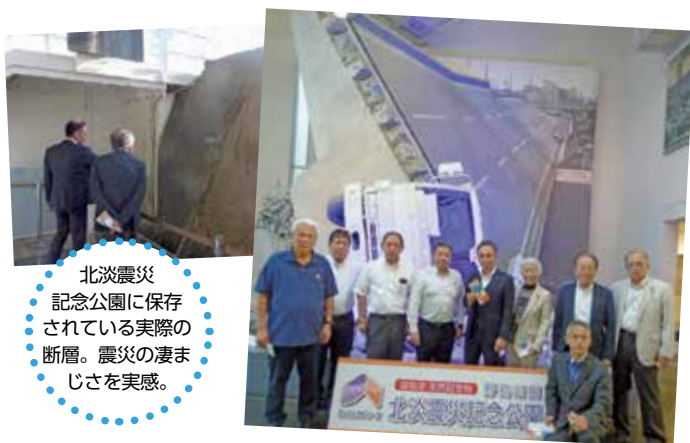
大阪・関西万博ではスペイン大使館のご高配により、館長にご説明いただきました。館内に入り最初に目にしたのは岩和田沖で座礁・沈没したサンフランシスコ号の模型と、当時の岩和田村の住民、特に海女たちによる乗組員救助の様子を描いたイラストの展示でした。日本、スペイン両国のつながりと御宿での歴史的史実の再確認ができ、今後の国際交流を考える有意義な訪問となりました。

淡路島では6ヶ所の視察を行いました。特に西海岸の民間企業による開発は「食」を中心とした総合リゾートアイランドであり、地域資源を活用し地方創生事業に取り組み、地域活性化や雇用創出を実現し事業展開をしている成功例として説明を受けました。御宿町でもこのような開発で通年型観光が可能になるのではないかと感じました。



産業建設委員会
委員長 藤井利一

6,400人余が亡くなられた阪神・淡路大震災から30年。淡路島は当時の悲しみや教訓を後世に語り継ぎながら、また様々な防災・減災施策に取り組みながら復興を続けています。私たちの住む御宿町も淡路島同様に海岸沿いの町。学ぶべき事は多岐に渡ると感じました。



北淡震災
記念公園に保存
されている実際の
断層。震災の凄ま
じさを実感。

ソボクなギモン



議会の視察って税金使って行ってるの!?

御宿町の場合は議員の個人負担。つまり“自腹”だよ。
毎月の議員報酬から1万円ずつ積み立ててるんだ。



令和7年第3回定例会

9月18日、19日

一般質問

9月18日に行われた一般質問では、7名の議員が登壇し、町政全般について現状や方針を問いました。

質問 順番	質問事項	質問 議員
1	①令和6年第3回定例会一般質問における答弁後の進捗について ②職員エンゲージメント向上に資する上司選択制度について ③秩序ある多文化共生社会の実現と課題について	岩瀬 環樹 会議録 P10～P24
2	①災害時の危機管理体制について	田中 とよ子 会議録 P24～P34
3	①「挑戦と対話のまちづくり」の進捗状況について ②“教育の町、御宿”の進め方について	北村 昭彦 会議録 P35～P50
4	①防災対応について	椎木 藤弘 会議録 P50～P52
5	①役場職員人事について ②少子化対策について	塩入 健次 会議録 P52～P60
6	①海水浴場区域の再編について	土井 茂夫 会議録 P60～P65
7	町長の政治姿勢について ①手話条例制定について ②御宿町第5次総合計画について	石井 芳清 会議録 P65～P83

1項目を深掘りして紹介します
(P7～P9)

詳細は会議録とYoutubeからご覧できます



◀会議録(1日目)
(P10～P83)



◀YouTube
(御宿町議会)

公共施設 今後の活用

岩瀬 環樹 議員



問 小中学校施設の集約化が行われない場合でも、小中一貫型教育を進めるのか。

答 小学校と中学校がそれぞれ1校の当町は、小中の連携が図りやすい環境にあるので、この連携が図られた先に小中一貫型の教育があると考えている。

問 こども園はそれに含まれるのか。

答 小学校と交流は行っているが、こども園を一体として行うことは考えていない。

問 目標達成までの工程は。

答 校舎更新の進捗に応じ、町の教育方針など協議する。

問 歴史民俗資料館の移設は。

答 指定文化財は現在公民館で展示、公開している。移設においての課題は、規模と保存環境という厳しい条件があるので継続して慎重に検討していく。



▲歴史民俗資料館

問 旧御宿高校の普通教室棟は、その候補地か。

答 現段階では旧御宿高校を資料館移設の候補地と考えていない。

問 旧御宿高校の売却等の検討は。

答 現時点で売却の検討については進んでいない。

問 歴史民俗資料や五倫文庫等、これら文化財の継承については。

答 とても重要なことだと思っている。ただ、どこに持っていかとか、どういうふうにするというのが、まだ詳細には決定されていない。

教育や文化に関わる施設は子どものうちから慣れ親しんだほうが豊かな人生が送れるので、子どもたちに利用の体験格差がないようにしていただきたい。

災害時 管理体制



田中 とよ子 議員

問 津波警報の発令時、1次避難場所や避難場所へ避難した方々についての誘導はどのようにされたのか。

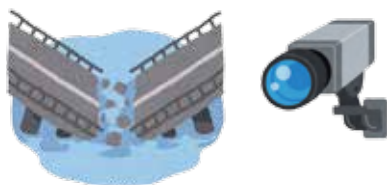
答 自分の命は自分で守ると避難訓練をしているので、各自が率先し、避難していたと判断している。

問 津波の際は海岸等への見回りは禁止されている中で、町の対策本部での現地、現場のデータ収集はどのようにするか。

答 住民の方と一緒に、違うのは気象庁とか県から直接情報が来るところで、やはりテレビ、ラジオが一番大きい情報である。

問 海岸線や近くの道路など、本部ではリアルタイムの情報収集が必要で、見回りができないのであれば現場の状況、情報を得るためにも定点カメラの設置が必要ではないか。

答 今回を含め内部検討をしたが、災害が起こるところをカメラで見えても何もできない。「すぐに逃げる」という訓練を積み重ねることが必要で、震災、風水害対策の定点カメラ設置については必要性を感じていない。



問 海岸線や波の状況だけでなく、港の周り、海岸通りや付近の住宅などを投影し、逃げ遅れの人など状況を把握し、防災無線での呼びかけなど情報発信ができる。設置費用は発生すると思うが何千万円もかかることはないのではないか。

答 お金のことで考えているのではなく、カメラで見て何ができるのかということで、日頃からそういうことがおきたら逃げるんだということを植え付けるしかないということで定点カメラは必要ではないというような結論に達している。

逃げ遅れの人、流されている人がいるなどの情報、事実把握をすることは行政が行うべき最も重要なことではないか。見回りを禁止しているのであればカメラを見て助けに行けとは誰も言わない。

挑戦と対話のまち づくりの進捗状況



北村 昭彦 議員

問 対話の町づくりとして始まった「原町長とハラを割って語る会」にて、どのような声が寄せられたのかホームページ等に掲載してはどうか。写真入りで報告している自治体もあるがどうか。

答 個人的要望も入っているため、まだ全ては公表できないと考えている。また、どこまで対応できるかも整理できていない。

問 「ハラを割って語る会」で対面式で対話をする一方で、時間や場所の制約がない Surfvote のようなネット上の無料ツールで議論を深めるという事も同時並行で行うべきだと提案したがその検討状況は。

答 時折ホームページを覗いている段階。まだよく分からない部分もある。



▲原町長とハラを割って語る会の様子

問 検討が始まっていない事は残念。無料なのだから早急にまずは使ってみるべき。手厚いサポートが無料で受けられる状況がいつまで続くかは分からないし、導入したとしても町内に認知されて議論が深まるまでには一定の時間がかかる。ぜひもう一步踏み込んで頂きたい。

答 検討する。前向きには考えている。

問 「挑戦のまちづくり」に向けた職員の意識改革の進捗状況は。

答 就任より3回、職員会議の際に失敗を恐れず挑戦する姿勢、挨拶の励行、丁寧な窓口対応などについて話をさせてもらっている。

問 3回の訓示。それだけかというのが正直な感想。先進事例も紹介したが、そういった工夫や取り組みは。

答 まだ庁舎内ですれ違った時にちょっと会話をする程度。昼食時にコミュニティーホールで職員と話をしたいと考えているがまだそこまで至っていない。

防災対策の現状

椎木 藤弘 議員



問 御宿町の防災体制について、避難所の開設、備蓄品の状況、夏季・冬季の対応、昼間・夜間の対応は。

答 地域防災計画に沿って対応し、職員の動員、配置については、震災、風水害、その他災害の状況で対応している。

避難所開設時は、避難所マニュアルにて対応しており、職員負担を考慮し民生部職員を7班体制にて対応しているが、町外に住む職員もいるため地元の職員だけで初期の即対応が懸念事項である。



夏季・冬季、昼間・夜間による大きな対応の違いはないが、体育館等の暑さ対策が急務となっている。台風などは襲来時刻により、夜間避難などにならないよう早めの避難を促している。

備蓄品は町施設にも備蓄されているが、日頃から各自3日分の飲料、非常食の準備をお願いしている。町では非常食は7年保存を主流とし、6年間で計1万6千食（1,777人×3日×3食）の整備目標を立てている。賞味期限間近のものは小中学校、自主防災会の避難訓練で試食、配布し、無駄のないように利用している。



▲避難訓練時に試食した非常食

役場の職員人事

塩入 健次 議員



問 町長就任からわずか数日で総務課長が交代となった。その後任として3か月後に定年を迎える職員を起用したことから、また4月に交代となることは必然で、立て続けの総務課長交代により職務の混乱は十分に想定された。この一連の人事について意図を伺う。

答 就任直後の人事異動は役場内の課長職活性化のために行った。副町長がいない状況が続き、総務課長の負担が大きく重責となっており、課長職は役職定年、退職、広域の水道局への派遣もあり、課の統合もあったことから今回大規模な人事異動を行った。

問 体調不良など想定外の原因があったにせよ、結果的に僅か7か月弱の間に総務課長が3回交代する事態となり、行政の混乱を招いた。その責任を町長としてはどのようにお考えか。

答 3回の交代はそれぞれ理由があり、それによって行政の混乱を招いたとは考えていない。

問 町長は、この7か月弱の間の3回の総務課長交代を異常事態、異例の事態という認識はお持ちか。

答 総務課長の体調不良は想定外だったが、年度始めの異動や引継ぎ等があり、時間はかかると思うが、それはどこでもある事で特に混乱とは考えていない。

問 職員と話す機会もなく、能力、適性等を把握できていない中で行われた人事異動は適正であったか。

答 役場内で相談し適材適所で行った。

問 先の定例会でも「町民だけでなく、職員と腹を割って話し合ってもらえないか」と指摘があった。その機会は持たれたのか。

答 遅いかもしれないが、これからやっていく。



海水浴場 区域の再編



土井 茂夫 議員

問 3区域の海水浴場の区域は、いつ頃から設定されたのか。

答 御宿海岸としては、昭和41年4月8日に千葉県指定を受け、正式な海水浴場として位置づけられたのは条例が平成2年6月27日に公布されたことによるものと認識している。

問 設置されてから5年ごとの入り込み客数は。

答 平成2年は100万8,000人、平成7年は92万8,000人、平成12年は51万9,000人、平成17年は31万2,000人、平成22年は38万3,131人、平成27年は13万9,499人、令和2年はコロナにより一時閉鎖、今年度は2万7,169人である。

問 海水浴場開設に必要なライフセーバーの配置人数は。

答 御宿海岸の監視台数が4か所で1つの監視台に3人から5人配置し、各海水浴場の案内所の3人を加え、1日の監視員数は20名程度である。



▲学生のライフセーバー

問 3つの海水浴場の開設費用は。

答 全体の費用となりますが、令和4年は1,546万円、令和5年は1,738万円、令和6年度は1,834万9,000円で令和7年度の予算額は1,961万4,000円である。

問 海の家が一番多かった時の軒数と少なかった軒数は。

答 多かったのは昭和44年で33棟、一番少なかったのは令和6年で4棟である。

問 3か所の海水浴場を統合して、利便性向上に努め、来場者の満足度を高める施策が必要ではないか。

答 3区域の統合について検討はあると思うが、まだそこまでには至っていない。

町産業 成果と課題



石井 芳清 議員

問 農林業について、課の方針にもあるが、地産地消という点で、特産品開発のレモン栽培はどのような事業を実施、展開しているのか。

答 本町にあるレモン研究会で県の農業事務所と共同しレモン栽培に取り組み、昨年から個人的な出荷、販売はしている。また、試作段階だが「レモンアミーゴ」を作成し、出荷するパッケージに貼り御宿産レモンのPRを進めている。



▲町内のお店に並んでいる御宿産レモン

問 水産業の実態について把握されている範囲で公表いただきたい。

答 水産業の船舶数は御宿22隻、岩和田35隻となっており組合員数ともに減少傾向である。これまで水揚げの主力で漁業を支えてきたキンメダイをはじめ、他の魚種についての水揚げもここ数年減少傾向にある。今年度、千葉県海洋人材確保育成センターが開設され、担い手の就業育成、就職後サポートする伴走型支援が始まったので、こうした機関や地元漁業組合と連携し創業者や担い手確保支援に取り組みを進める。

問 商工業の雇用創出についてはどのような取り組みをしているか。また、新たな起業を含め特徴的なことはあるか。

答 企業誘致が雇用創出で最も効果的だが、当町は大規模な立地がなく、多くの新規雇用の創出が難しい状況である。近隣市町村では、小さいながらも新たに創業し様々な取り組みをしている方が、地域において賑わいを見せている例があるので、創業へ向けての取り組みや決め手など、現状把握のため直接話を聞き必要に応じ支援策の見直しや、ホームページや広報等での周知を行い雇用創出に取り組む。

審議結果 9月定例会

賛成：○ 反対：×

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
		議決結果	藤井利一	岩瀬環樹	塩入健次	滝口一浩	土井茂夫	北村昭彦	伊藤城祐	石井芳清	椎木藤弘	田中とよ子
報告第1号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく令和6年度健全化判断比率…町の財政は健全である。	報告	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定…仕事と生活の両立支援の拡充について地方公務員の育児休業等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、条例の一部を改正するもの。	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第2号	御宿町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び御宿町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定…法律に係る内閣府令が施行され、家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準等が見直されたことにより、所要の改正をするもの。	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第3号	国民健康保険特別会計補正予算(第1号) …歳入歳出それぞれ2,884万7千円を追加し、補正後の予算総額を10億726万5千円とするもの。 国民健康保険システム標準化対応の経費を一般会計から国保会計に移行したことによる増額、子ども・子育て支援金制度に伴う国保税収納管理システム改修費用、人件費等を追加。	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第4号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) …歳入歳出それぞれ148万5千円を追加し、補正後の予算総額を2億1,068万円とするもの。 コンビニ収納サービス導入経費と子ども・子育て支援金制度の創設に伴うシステム改修による委託料の追加。	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第5号	介護保険特別会計補正予算(第1号) …歳入歳出それぞれ7,300万4千円を追加し、補正後の予算総額を10億4,832万8千円とするもの。 人事異動等に伴う人件費の増減及び令和6年度における介護給付費等の実績に伴い、国・県・支払基金への返還並びに一般会計への精算繰出について補正を行うもの。	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第6号	一般会計補正予算(第2号) …歳入歳出それぞれ1億187万1千円を追加し、補正後の予算総額を45億7,913万円とするもの。 → P11参照	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第7号	布施学校組合会計歳入歳出決算の認定 → P12参照	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第8号	御宿町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○
議案第9号	御宿町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○
議案第10号	御宿町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 → P12参照	認定	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○
議案第11号	御宿町一般会計歳入歳出決算の認定 → P13参照	認定	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○
選任第1号	常任委員会委員の選任 → P16参照	選任	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
選任第2号	議会運営委員会委員の選任 → P16参照	選任	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
発議第1号	常任委員会における閉会中の継続審査(調査)	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○
発議第2号	議会運営委員会における閉会中の継続審査(調査)	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○

議案 Pick up !

こんなことが
決まりました

令和7年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億1,871万1千円を追加し、総額45億7,913万円としました。

主なものは地方創生臨時交付金を活用し、生活支援及び地域経済の活性化対策としてプレミアム付商品券事業を行うほか、高齢者の社会参加の促進を図るために実施する高齢者福祉タクシー事業の経費や電算システム改修費などです。

Pick up 1

補正予算

生活支援と地域経済の活性化へ

高齢者福祉タクシー事業

179万5千円

重度心身障害者に対して行っている福祉タクシーの対象者を拡大し、移動困難な高齢者に対して利用料金の一部を助成する事業が実施されます。

対象者

本町に住所を有する満80歳以上の高齢者
独居及び高齢者のみの世帯(対象者:約1,200名)

対象者が拡大!



▲定例会の他にも協議を進めています

さらに Pick up !!

(対象者:約1,400名)

「日中独居の方は?」の議員の提案を受け、対象者が**80歳以上の全員に拡大**し、10月1日から事業が開始しました。
※

※車を持っていない方など一定の要件あり



▲プレミアム付商品券(チラシ)

プレミアム付商品券事業

3,616万6千円

物価高騰の影響により落ち込んだ町内に消費活動の喚起を図り、地域経済の活性化を促すものです。購入金額1万円で1万4千円分の商品券を販売。

※対象者は町内在住者

Q プレミアム商品券事業の現時点での詳細を。

A 販売と利用の時期は、概ね11月から1月の終わりぐらいまでを考えており、発行冊数は7,500冊。販売場所は駅前観光案内所を予定している。

Q 取扱参加店は商店振興会の会員のみで、農家の方などその他は対象ではないのか。

A 基本は店舗を対象に進めていく方向で考えている。

Pick up 2

決算の認定

令和6年度一般会計をはじめ、5つの決算が審議されました。

※決算額は千円未満四捨五入しています。

一般会計

歳入総額 44億2,305万円 2.3%増
歳出総額 41億2,267万円 3.5%増

国民健康保険特別会計

歳入総額 9億8,181万円 5.4%減
歳出総額 9億6,395万円 2.3%減

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 2億318万円 9.2%増
歳出総額 2億169万円 9.7%増

介護保険特別会計

歳入総額 12億1,134万円 0.4%増
歳出総額 9億4,621万円 4.3%減

布施学校組合会計

歳入総額 4,262万円 3.5%増
歳出総額 3,888万円 1.4%増

○水道会計は夷隅郡市広域市町村圏事務組合に移行しました。

○布施小学校閉校に伴い組合議会が解散したため、布施学校組合会計決算は御宿町議会で審議しました。

布施学校組合会計

布施小学校閉校の経費

142万7千円

Q 閉校記念誌印刷代の詳細と残数は。

A 記念誌を75冊(29万円)、別冊版を600冊(22万円)で合計51万円計上。布施学校組合区の世帯と閉校イベントの参加者に配布した。保存用を除き、残数はない状態である。

Q このような歴史的な書物は、今後閲覧できるようにすることが必要と考えるがどうか。

A 布施小学校は150年の歴史があり、こういった資料を広く見られるようにしていきたい。また、ホームページ等にも掲載し周知できればと思う。



▲閉校になった布施小学校校舎

健康づくり教室の参加者数増の要因

介護保健特別会計

介護施設の待機者は



▲健康づくり教室(すこやか)での体操の様子

Q 参加者数が年々増加している主な要因は。

A 町ホームページ等で事業の周知を行っているが、主な要因は、実際に参加された方が、教室の良さを実感し、周りの人を誘って、参加しようと思ったことが主な要因だと感じている。

Q 施設サービスの給付費が前年度と比較すると減少しているが、町において介護施設の待機者はどの程度いるのか。

A 待機者は約40名と把握している。また、民間で増床の計画があるため、完成すれば対応できるのではないかと考えている。



一般会計

海岸監視員の施設借上料

270 万円

Q 海岸監視員のための施設借上料について詳細を。

A 浜地区の民宿の一棟貸しの借上げである。

Q 新町地区の男性用の宿舎は来年以降はどうするのか。

A 次年度以降も活用する予定である。女性用宿舎は次年度以降は未定である。御宿町の海岸に監視員が必須であると認識しているので、今後も監視員の体調面も含めて宿泊施設を検討していきたい。



▲男性用の宿泊施設（松原荘）



▲3D プリンターで作成したトロフィー

一般会計

海と山の子交流事業

136 万 1 千円

Q 交流事業 50 回目を記念して、具体的にどのような記念品を作成したのか。また、3D プリンターで作成したものなど先進的な取組みについて詳細を。

A 記念品はうちわ、野沢温泉村マスコットキャラクターのナスキーとエピアミーゴが肩を組んでいるラバーストラップ、3D プリンターで作成した金色のトロフィーを作成。

3D プリンターについては、夷隅地方教育研究所が授業等に役立てられればということで貸出しをしているもので、学校関係者と保護者と話し合ったなかで3D プリンターのアイデアをいただいた。

討 論

令和 6 年度一般会計決算に反対討論

新年度の予算化には事業評価が必要である



石井 芳清 議員

この決算は石田町政約 9 か月、原町政 3 か月という予算執行の決算だと認識しています。

全体的に見て、実質収支比率 6 から 7 % をこれまで努力をしていたわけであるが、10.3% で 2 億 7,400 万円ということで、これは仕事の仕方、事業の仕方だと考えています。これをさらに精査していただくことが必要だと思います。

新年度を予算化するためにも事業の評価に取り組んでいただき、PDCA を含めて精査していただくことが必要だと思います。であるならば、今般の決算のような事故繰越ということは、多分起きないと考えます。

賛成討論はありませんでした



毎号、少しずつリニューアルを重ねているので・・・

議会だより

について **また** 聞いちゃいました。

「議会だより」は同級生が町の選挙に立候補したことがきっかけで町政に関心を持ち、読むようになりました。

今では毎号をひと通り読むことで、御宿町の現状が理解できます。

レイアウトがお洒落な点、タイトル文字が大きい点などに編集の努力が見られるのですが、Instagramのように画素数の高い写真を多用することで、ご年配の方々にも馴染みやすいかと思います。

それから「議会だより」を手に入れる方法が少なく、読む機会を逃している点から思うことは、商店なども配布場所として頂ければ、私もお客様にお勧めして手渡しします。



久保 石川 綾子さん

「議会だより」を読んで、観光と防災の考え方に町の未来を想う姿勢を感じました。

海や自然環境を生かした取り組み、自然災害に備えた体制づくりなど、町の動向を身近に感じることができるのは有難いです。今後も町の魅力と安全を両立させる、情報発信を続けて欲しいと思います。

改善点を言うとスマホで見るWEB版(PDF)が見づらいので、SNSと連携すると良いのかな？

読んでもらうためには「議会だより」から連想する議案や予算等の専門的で硬いイメージから脱却して「おんじゅくトーク」「#おんじゅく議会」などの柔らかいタイトルに変えるのはどうでしょうか。



岩和田 上野 聖司さん

インタビューの依頼を受けて、ここ2年くらいの「議会だより」を読みました。

回を重ねるにつれ分かりやすくなっているのも、改善されている点が理解できました。直近の217号にあった全国町村議会の入賞作品をQRコードから見たのですが、それらと比べても遜色ないのでは？と思いましたが、あえて挙げるならば各議員さん目線のコメント、それから町民の方との意見交換や意思疎通の企画が、少し不足しているのかもしれません。

あとは巻頭の特集記事の写真とタイトルにインパクトがあると興味が引かれるかな？そして私自身は「議会だより」を通して、議会の活動と議員さんの仕事に興味を持ちました。



須賀 内田 史帆さん

感謝



インタビューに協力してくださった皆様、ありがとうございます。議会だより編集委員会では、今後もインタビューで皆さまの率直な感想を伺いながら、親しみやすく、分かりやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

議会議員活動情報

(令和7年8月～11月)

町議会議員の出席した会議や行事などを紹介します。

8月

- 20日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会定例会
- 21日 議員協議会(第7回)
- 23日 ビーチバレームーンカップ in御宿
- 25日 夷隅環境衛生組合出納検査
国民健康保険運営協議会
- 26日 例月出納検査
国保国吉病院組合出納検査
- 28日 全国町村議会広報研修会

9月

- 11日 議会運営委員会
- 18日 第3回定例会(日程第1号)
- 19日 第3回定例会(日程第2号)
- 22日 夷隅郡市広域市町村圏事務組合例月出納検査
- 26日 例月出納検査
御宿町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会
夷隅環境衛生組合出納検査
議会だより編集委員会
- 29日 国保国吉病院組合出納検査
国保国吉病院組合議会全員協議会
- 30日 山梨県小菅村行政視察

10月

- 5日 勝浦いすみ青年会議所創立60周年記念式典
- 6日 産業建設委員会
総務教育民生委員会
議会運営委員会
御宿駅西側遊休農地等環境整備事業推進検討会
- 8日～9日 常任委員会視察研修
- 15日 総務教育民生委員会協議会(第3回)
- 16日 議会だより編集委員会
- 19日 いすみ市市制施行20周年記念式典
- 20日 議員協議会(第8回)
- 22日 例月出納検査
- 26日 御宿町合併70周年記念式典
- 27日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
- 31日 夷隅環境衛生組合議会定例会
夷隅環境衛生組合出納検査
国保国吉病院組合議会定例会

11月

- 4日 議会だより編集委員会
- 6日 野沢委員会
- 7日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 12日 町村議会議長全国大会

第4回定例会 開会予定日

12月9日(火)



御宿町合併 70 周年記念式典にて 5 名が自治功労彰を受彰

10月 26日(日) に御宿町合併 70周年記念式典が町公民館で開催されました。

表彰式では、町の振興発展のため各分野で功労のあった 41 名が表彰されました。

町議会からは、元議員の貝塚嘉軼氏、伊藤博明氏、現議員の滝口一浩議長、石井芳清議員、土井茂夫議員が受彰。町議会議員として 12年以上在籍し、尽力された功績が認められました。



▲表彰式の様子（代表者登壇）



滝口議長が千葉県町村議会議長会の 副会長に就任

本町議会の滝口一浩議長が、令和 7 年度第 2 回千葉県町村議会議長会臨時会にて全員の賛成で副会長に選出されました。

任期は令和 7 年 9 月 1 日から令和 9 年 6 月 1 日までです。

常任委員会と議会運営委員会の委員が選任されました

(◎は委員長、○は副委員長)

◇総務教育民生委員会（定数 5 名）

◎石井 芳清 ○塩入 健次 土井 茂夫 北村 昭彦 田中 とよ子

◇産業建設委員会（定数 5 名）

◎藤井 利一 ○椎木 藤弘 滝口 一浩 岩瀬 環樹 伊藤 城祐

◇議会運営委員会（定数 4 名）

◎土井 茂夫 ○田中 とよ子 石井 芳清 藤井 利一

★町ホームページ (<https://www.town.onjuku.chiba.jp/>) では、議会情報や過去に発行された議会だより、会議録等がご覧いただけます。また、議会事務局でも閲覧ができますので、ご連絡ください。

御宿町議会事務局 Tel 0470-68-2515



編集後記

議会だよりを「発行しなければならぬ」から「発行したい」との想いをもち、「手にとりやすく、読みやすい紙面づくり」にチャレンジしています。

皆さんからのご意見やご感想を編集委員がインタビュすることに挑戦しています。ぜひご協力をお願いします。

月日の経つのは早いもので、今年も残すところ一ヶ月余りとなりました。

今年は猛暑が長く続きました。体調には十分ご留意いただき、新しい年をお迎えください。

新年が良き年となりますようご多幸をお祈りいたします。

議会だより編集委員会
田中 とよ子